

[長崎市理財部資産経営室からのお知らせです。]

公共施設の将来のあり方を考える市民対話《山里・江平地区》

❀ 第1回 開催報告 ❀

ご参加いただいた皆さま
ありがとうございました。

日時 令和4年7月2日(土) 18:30 ~ 20:30

場所 山里地区ふれあいセンター 第1研修室

参加者 地域の皆さん 14人



人口減少や少子高齢化が進むなかにあっても、暮らしやすいまちであり続けるために、山里・江平地区にある公共施設はこれからどうあったら良いのか・・・将来に向けた公共施設のあり方を皆さんと一緒に考えていきたいと思い、市民対話を開催しました。

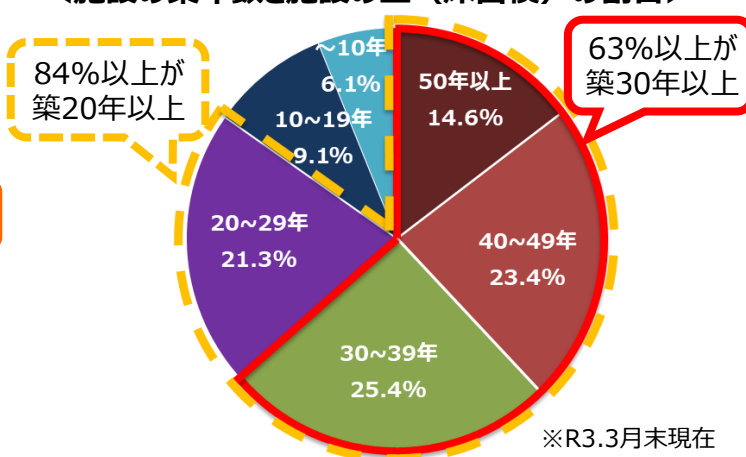
※手指消毒、換気、マスク等の新型コロナウイルス感染対策を行い、開催しました。

1 いま起きている“変化”と状況

公共施設が古くなってきています

- ・市の公共施設（建物）の6割以上が建築後30年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・今後、修理や建替えの時期を一齐に迎えます。

<施設の築年数と施設の量（床面積）の割合>



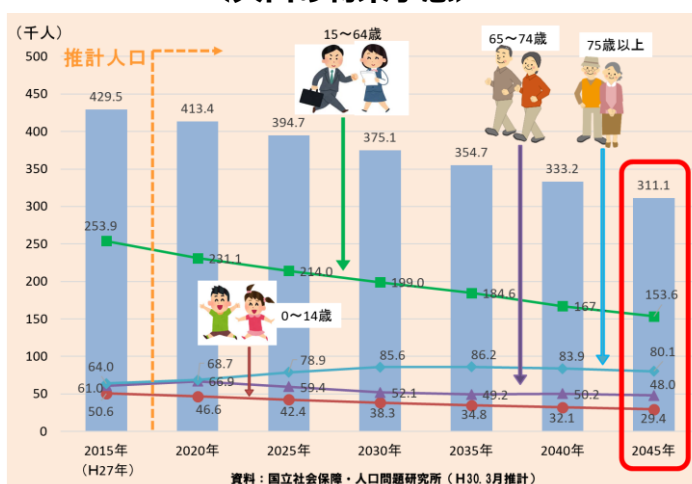
人口減少・少子高齢化が進んでいます

- ・長崎市の人口は、2045年には約31万人にまで減少すると予測され、それに伴い施設の利用者も減少していくことが予想されます。
- ・「働く世代」の人口が大きく減少して**税収が減少することが予想**されます。
- ・今後も高齢化が進み、**福祉や医療にあてる費用が増えることが予想**されます。
- ・このため、**公共施設の修理や建替えにあてる費用は限られて**しまいます。

私たちのまわりで起きている変化



<人口の将来予想>



- ・高度成長の時代を経て、私たちの暮らしは豊かになってきました。しかし一方で、近年では人口減少や少子化、高齢化、ひとり暮らし世帯の増加といった問題や大雨による地滑り、台風、津波などの自然災害の増加による、防災に対する意識の変化など、私たちのまわりではさまざまな変化が起きています。

新型コロナウイルスの流行による変化も

●コロナ禍での変化

- ・コンビニで住民票等の取得
- ・スマートフォンなどを使用した電子納税
- ・テレワークの普及
- ・オンライン会議の活用 etc....



コロナの終息後も、新しい生活様式が当たり前



・「新型コロナウイルス」が世界中で流行し、スマートフォンを利用したサービスの提供やテレワーク、オンライン会議の普及、「新しい生活様式」など働き方や生活の新たな常識「ニューノーマル」時代へと変化しています。

2 長崎市の現状

人口減少

公共施設の
利用者の減少

なのに

公共施設の量は
そのまま



少子高齢化

医療・介護など福祉
にあてる予算の増大

なのに

古くなった公共施設の
修理に費用がかかる



3 コロナ禍を契機として

コロナ禍を契機として.....

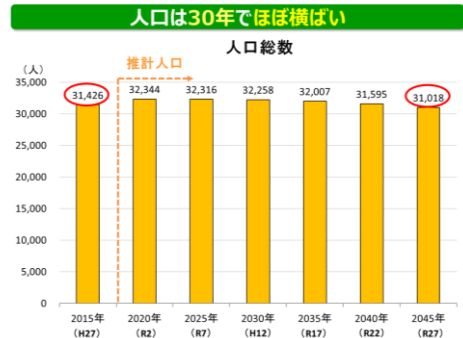
- ・行政サービスの提供方法の変化
- ・公共施設のあり方を見直す必要性

コロナ禍を契機として、スマートフォンを活用した非接触での行政サービスの提供方法へ変化がみられるようになっていっています。このような変化のなか、これからも暮らしやすさを維持していくためには、社会のいろいろな「しくみ」を見直していく必要があります。

その中の一つとして、公共施設の使い方の見直しに取り組んでいくことも必要と考えます。

4 山里・江平地区の現状

1 山里・江平地区の将来推計人口



2015年で約3万1千人の人口が、30年後にも約3万1千人程度と、ほぼ現在の人口規模で推移していくものと予想されています。

人口は横ばいですが、統計的にはこれから山里・江平地区でも高齢化が進むと予想されています。

グループでの話し合い

「区内にある施設の課題等」「市の考える施設の基本的な配置に対する意見」について考えよう

○山里・江平地区の将来を考えるうえで、区内にある施設の課題などは何ですか。

○市の考える施設の基本的な配置に対して、どう思いますか。
思い浮かんだことを書き出してもらい、班で話し合いました。

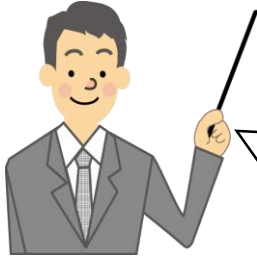


5 公共施設のあり方についての考え方

また、どのように公共施設を考えていくかについても、お話ししました。

まず大切なことは…

施設を見直すことは、行政サービスを無くすことではありません。



施設の見直しとは、あくまでも施設のあり方や使い方を考えるということです。仮に施設が減っても、そこで行われていた生活に必要なサービスを無くすことではありません。

＜工夫した使い方の例＞

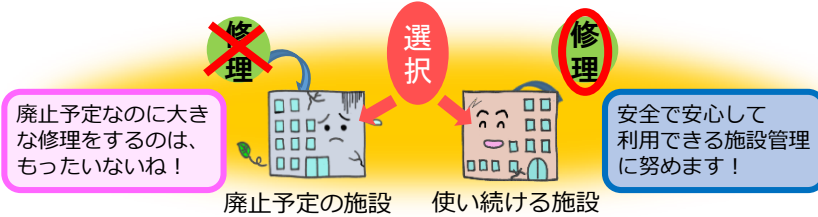


建物は減っても… サービスは残る

考え方

考え方には、大きく2つの手法があります。

考え方1 同じような使われ方をしている施設では、施設を選ぶ



使い続ける施設と将来廃止予定の施設を分けて、使い続ける期間に合わせた適切な修理をします。

考え方2 使われていないスペースがある施設では、施設をまとめる



建物が減っても工夫することで活動は続けられ、新たな交流も生まれます。

公共施設を考える時の視点

次の7つの視点で施設を考えていきます。

建築年数や修理の状況



地震に強い建物か



よく利用されているか



使っていない部屋はないか



同じような使われかたをしている建物がないか



修理などにお金が掛かりすぎていないか



バリアフリーに対応しているか



グループでの話し合いの様子



6 長崎市全体の公共施設の基本的な配置の考え方

コミュニティ活動施設



- ❖地域の皆さんが身近にふれあい、さまざまな活動を行っていく場所として、気軽に立ち寄ることができる地域コミュニティ活動の場はこれからも必要です。
- ❖今後は、ふれあいセンターや地区公民館などに加え、特定の年齢層を利用対象とした老人憩の家や児童館・児童センターなどの施設も、将来的に、多世代が利用できる施設へ利用方法や機能を見直し、身近な場所で、地域の子どもから高齢者までの多世代が活動する場を維持していきます。



山里地区ふれあいセンター



浦上駅前ふれあいセンター



銭座地区コミュニティセンター



老人福祉センターあじさい荘

中学校区に配置する施設

- 多数の参加が見込まれる活動や行事などのため、小学校区の施設よりも広いスペースや調理室などの特定の設備が必要な施設については、小学校区に配置する施設を兼ねる形で、概ね中学校区への配置を考えています。



小学校区に配置する施設

- 地域の皆さんが最も身近な場所で、地域の話し合いなど、さまざまな地域活動に利用する地域コミュニティの活動拠点は、概ね小学校区の範囲への配置を考えています。



中学校区

小学校区

- 集会室
- 和室
- 給湯室

…等



- 集会室
- 会議室
- 和室
- 調理室
- 事務室兼図書室
- …等

ホール型施設

芸術文化の振興のためには、文化活動に取り組む市民が練習や、その成果を発表する場及び市民が芸術文化を鑑賞する場が不可欠であり、それらの機能を備えた拠点が必要となります。また、市民が集い交流する場としても、誰もが利用できる拠点が必要になります。

ホール型施設は、全市施設として、公共交通機関の便がよく、市内全域から利用しやすい都心部及び都心周辺部に配置します。



長崎ブリックホール

子育て関連施設

子育て世代の支援の一つとして、保護者の子育ての孤独感や不安感の軽減を図るため、保護者が気軽に集い、相互に相談や交流等ができる場として、子育て支援センターの設置を進めており、「長崎市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、市内16区域に設置する考えです。

この地区には、発達障害のある子どもや発達が気になる子どもを育てる保護者の負担軽減を図るため、気軽に交流や相談等ができる発達障害支援に特化したインクルージョン子育て支援センター「にこっと」を設置しています。

学校施設

学校の適正配置については、教育委員会が地域と協議させていただいています。



高尾小学校



山里小学校



坂本小学校



銭座小学校



山里中学校

放課後児童クラブ

子どもたちの放課後等における安全・安心な居場所の確保を図るため、基本的に小学校区ごとの利用見込みに応じて配置します。



キラキラたかお/
もりもりたかお



わくわくたかお



やまざとクラブ/
やまざとキッズハウス



おおくす児童クラブ



インクルージョン子育て支援センター
「にこっと」



障害者支援施設

障害福祉センターは、障害者の活動の場を確保し障害者を支援するための中心的な施設であり、専門的な機能が必要になることから、市内1か所の配置を維持し、交通アクセスを考慮した現在地に配置します。



障害福祉センター

保健施設

被爆者の平均年齢が80歳を超えた現状からは、今後、中央部にある原子爆弾被爆者健康管理センターの利用は大幅に減少することが予想されます。被爆者健康診断は、当該施設のみならず、公営及び民営の医療機関でも実施することができるため、健康管理センターは廃止とします。



原子爆弾被爆者健康管理センター

博物館等

市民全体が利用する施設として、教育の振興や学術・文化の発展に寄与することを目的として設置していますが、展示物の老朽化等により設置当初の機能を果たせていなかったり、展示物の移転・集約が可能な施設もあり、長崎市全体として、見直しを図ることとしています。



歴史民俗資料館
/野口彌太郎記念美術館

平和施設

被爆者が高齢化するなか、時代を超えて、被爆の実相を伝え、核兵器廃絶を訴える施設として必要であり、被爆都市の使命として、被爆の実相と長崎市民の平和の願いを広く国内外に伝えていきます。



平和会館ホール



長崎市永井隆記念館



如己堂



原子爆弾無縁死没者追悼祈念堂



長崎原爆資料館

市営住宅



●今後、人口や世帯数が減少し、市営住宅の需要は減ると予想されます。そのため、民間住宅市場で最低居住水準を確保できない低額所得者や入居制限を受ける可能性がある高齢者や障害者、子育て世帯等の住居困窮度の高い世帯などの、真に救済すべき世帯の最低限の安全な暮らしを守る役割を担いながら、将来的には市全体の市営住宅の総戸数を減らしていく方針です。



シュモー住宅



若葉住宅



三芳住宅



江平住宅



銭座住宅

市営駐車場

●普通車駐車場については、現在、市全体では充足しており、一般利用者のための市営駐車場の必要性は低くなっていくものと考えますが、公共施設等の利用者の利便性確保のために必要であることから当面は現施設を維持していくこととしています。

●二輪車等駐車場については、サービスを提供する民間事業者が少ないこともあり、必要台数の確保に向け官民連携して整備を推進していきます。



茂里町駐車場



浦上駅二輪車等駐車場

5

消防施設

❁消防体制の見直しを図りながら、効率的な適正配置により、将来にわたり長崎市にお住いの皆さんが安全安心に暮らせるように、サービスの提供を行っていくこととしています。



北消防署



北消防署浦上出張所

6 長崎市全体の公共施設の基本的な配置の考え方（つづき）

その他

❁施設の特殊性や、サービスの機動性確保のため、本庁舎から分散して行政事務を行う施設を設置していますが、より効率的な行政運営を図るために必要な施設配置へ見直します。また、余剰スペースが生じている施設や、施設の集約化が可能な施設があることから、施設の複合化や統廃合を行うことにより、用途全体の施設規模の縮小を図ります。



長崎市保健環境試験所



動物愛護管理センター

★グループでの話し合いで出された主な意見

グループで話し合っていたいただいた内容について、班ごとに発表していただきました。

1班

- ・自治会公民館をバリアフリー化するための、市の支援はないのか。
- ・市民対話のようなワークショップを開催するにしても、なかなか情報が市民へ伝わっていないのではないか。
- ・旧江平中学校の活用についても考える必要がある。
- ・人口推計において、将来的な山里・江平地区の人口は微減だということであれば、公共施設の数はそのままでもよいのではないか。

2班

- ・ふれあいセンターでは飲食ができないなど利用の制約があり、自治会集会所と違い自由に使うことができないと感じている。市においてルールを変えることはできないか。
- ・高尾校区のコミュニティ協議会が設立され、現在、本部を山里地区ふれあいセンターに仮置きしているが、いつまでも仮置きできるものではない。他に設置場所はないのか。

3班

- ・江平地区の下の方は公共施設があり栄えていると思うが、高台の方は集まるところがなく、人の繋がりもだんだん薄くなってきていると思うため、人が集まれる場所があればよいと思う。
- ・旧江平中学校跡地の活用策が何も決まっていないのであれば、消防施設、公民館、スポーツに活用できる施設など、まちおこしの一環として旧江平中学校を活用してもらいたい。

【講評】（アドバイザー：東京都立大学 都市環境学部 讃岐 亮 先生）

- 公共施設のあり方や再編を考えると、往々にして「公共施設が減る」という観念が先行してしまいます。実際、市の財政は厳しいもので、財政を健全にするには公共施設の床面積を抑えたい、と説明がなされますが、私はそれは少し違うと思っています。結果的に量的な調整はあるかもしれませんが、このまちをどうしていくのか、という『将来のまちのビジョン』を皆さんと共有してこそ、財政という制約の中でも、そのビジョン実現に向けて既存の公共施設をどう当てはめていくべきか、という話ができるはずです。そういった『ビジョン』を描くための素材をいただいたのが、今日の成果と言えるでしょう。



次回の対話では・・・

長崎市から個別の公共施設の配置の考え方をお示したうえで、その考え方に対して、地域にお住まいだからこそわかる実情などを踏まえた、ご意見やアイデア等をお聞かせいただきたいと思っております。

第2回 日時：令和4年8月21日（日）10：00～12：00

場所：山里地区ふれあいセンター 2階 第1研修室

◆お問い合わせ：長崎市理財部資産経営室（☎直通：095-829-1412）